

## 令和3年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冊子・リーフレット・チラシの作成、配布 ごみと資源の分け方・出し方（保存版、簡易版、4か国語版） Bunkyoごみダイエット通信（A4判（両面4ページ）、新聞折込版） リサイクル推進協力店リーフレット 登録店舗数 41店舗 ぶんきょう食べきり協力店パンフレット 登録店舗数 63店舗 エコ先生の特別授業リーフレット 登録講座数 10講座</li> <li>● 区報を活用した主な周知・啓発事業 食品ロス削減月間、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」、ごみの分別方法</li> <li>● CATVを活用した主な周知・啓発事業 3R・食品ロス削減推進の取組（フードドライブ、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」の内容を含む）、ぶんきょう食べきり協力店の紹介、イベント開催の案内（ステージ・エコ、文京エコ・リサイクルフェア等）</li> <li>● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」 ・アクセス数 78,951件 ・LINEのお友達数 7,652人 ・LINEによる情報提供（プッシュ式） 27回 （令和4年3月末時点）</li> <li>● その他 ・区ホームページ内の「動画で学ぶごみ減量」ページをLINEプッシュ通知で紹介 ・区内郵便局への食品ロス削減推進事業のポスター・パンフレットの掲示 小石川郵便局及び本郷郵便局 12月20日（月）～1月17日（月） ①フードドライブポスター（B2判） ②食べきり協力店パンフレット（A5判） ・3R推進月間（10月） 廃棄物の3R推進を呼びかけるポスターを庁内及び区内施設に掲示 ・食品ロス削減月間（10月） 食品ロス削減の啓発ポスターを庁内及び区内施設に掲示、庁内電子掲示で食品ロス削減呼びかけ、館内放送の実施、文京区民チャンネル文字放送にて区の食品ロス削減事業を放映 ・消費者庁作成の「食品ロス削減ガイドブック（令和3年度版）」において、フードドライブ自宅訪問受取サービスについて紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼い頃より、リサイクルや環境問題に関心を持ってもらうために、小中学生向けに解りやすく読みやすい記事の掲載に努めるとともに引き続き2Rに関するクイズなどを取り入れて若年層への普及啓発を行う。 併せて、現在の環境問題等に関する教育内容や啓発活動について、研究を継続する。</li> <li>● 新聞購読者世帯が年々減少しており、新聞折込版以外の幅広い啓発手段も求められる。</li> <li>● 「リサイクル推進協力店」・「ぶんきょう食べきり協力店」の店舗数の拡充を図るため、文京区商店街連合会や食品衛生協会に働きかけるとともに、区内店舗への勧誘も引き続き実施する。</li> <li>● 普及啓発活動の場を広げるため、他の部署主催のイベント等とも連携し、2Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
<p>1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進</p>	<p>(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各イベント・講座等の実施状況 【文京エコ・リサイクルフェア】 ・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収）、パネル展示 11月5日(金)～6日(土)、ギャラリーシビック・アートサロンにて開催 15団体出展、来場者約750名</li> <li>【ステージ・エコ】 ・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収） ギャラリーシビックにて3回開催（7月10日(土)、11月6日(土)、2月4日(金)） ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、5月14日(金)及び9月17日(金)は開催中止 ・新型コロナウイルス感染拡大防止及び文京シビックセンター改修工事に伴う区民ひろばの利用制限のため、フリーマーケット及びおもちゃの病院、尚美ミュージックカレッジ専門学校学生による演奏は中止</li> <li>【リサイクル推進サポータースキルアップ養成講座】 5月19日(水)～6月2日(水)全3回（①・③は新型コロナウイルス感染拡大の影響等により中止、②はオンライン開催） ① 講師：石丸 亜矢子 氏（接点合同会社） ② 講師：中井 八千代 氏（容器包装の3Rを進める全国ネットワーク運営委員長）受講者8名 ③ 講師：鬼沢 良子 氏（NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長）</li> <li>【団体育成支援バス見学会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> <li>【団体育成支援公開講座】 12月10日(金)「リサイクルの優等生 段ボールってすごい！～私たちの日々の行動で地球環境を守ろう～」 講師 端山 亮 氏（段ボールリサイクル協議会 理事 事務局長） 受講者 34名</li> <li>【モノ・フォーラム】 1月31日(月)食品ロス削減講座「地球にやさしい台所クッキングと、もったいない和菓子」オンライン開催 受講者7名 講師 芝崎 本実 氏（帝京平成大学助教）</li> <li>【エコ先生の特別授業】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみや環境への関心が低い区民に対し、イベントなど様々な機会をとらえて、3Rや資源の分別について、啓発を行う。</li> <li>● 新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながら、イベント・講座を再開している。今後も社会情勢を考慮し、効果的な開催時期・実施方法を検討する。</li> <li>● 「新たな生活様式」が求められる現状において、体験・工作を中心とした講座を行うことにはリスクを伴う。工作の様子を撮影し、配信する等、企画内容を工夫する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	<p>【集団回収実践団体バス見学会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</p> <p>【ふれあい講座】 例年、区立小学校等で実施（令和元年度実績：区立小学校16校、筑波大学附属小学校、都立文京盲学校で実施。受講者 延べ1,267名）しているが、令和2年度及び3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。</p> <p>【子ども服無料頒布会（旧 子ども用品とりかえっこ）】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度まで実施していた「子ども用品とりかえっこ（衣類等の無料交換会）」の開催方法を見直し、事前に回収した子ども服を頒布する「子ども服無料頒布会」として実施 開催日 3月12日（土）、参加数 44世帯、頒布数 342点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、他部署主催のイベントが対面での開催からオンライン開催に変更となり、区ホームページにリンクを貼る等して展示予定の内容を紹介（クールアースフェア（環境政策課主催）、子育てフェスティバル（子育て支援課主催））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普及啓発活動の場を広げるため、他部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。</li> </ul>
	(3) 地域活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NPO法人「緑のごみ銀行」と協働し、生ごみ減量塾を開催 春季 6月11日（金）オンラインにより「生ごみ腐葉土の作り方・使い方についての講義・実習」受講者14名 秋季 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>● 区内リサイクル団体「リサイクルイン文京」と協働し、公開講座を開催 再掲</li> <li>● ステージ・エコにおいて、ステージ・エコ実行委員会と協働し、各種資源回収及びフードドライブを実施 再掲</li> <li>● 文京お届け講座において、区職員が地域団体の学習会に講師として赴き、「食品ロス削減・ごみと資源の分け方出し方」をテーマに講演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大を受け、各種イベント・講座等が中止になった影響により、区民団体やリサイクル推進サポーターとの交流の機会が著しく減少している。オンライン開催等も含め、現状でできる手段で十分な効果が期待できる企画内容を検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性																
2 普 事 業 及 啓 者 発 を ・ 対 協 象 と の し 推 た 進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業用大規模・中規模建築物を対象に、1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知及び指導を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言期間中は立入検査を行えなかったため、件数は減少した。また、廃棄物管理責任者講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期は中止とし、後期はオンライン実施とした。</li> </ul> <p>【事業用大規模建築物（延べ床面積3,000㎡以上）】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>対象件数</td> <td>307件</td> </tr> <tr> <td>再利用計画書提出件数</td> <td>307件</td> </tr> <tr> <td>事業用建築物立入検査件数</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>廃棄物管理責任者講習会参加人数</td> <td>75人</td> </tr> </table> <p>【事業用中規模建築物（延べ床面積1,000㎡～3,000㎡未満）】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>対象件数</td> <td>316件</td> </tr> <tr> <td>再利用計画書提出件数</td> <td>290件</td> </tr> <tr> <td>事業用建築物立入検査件数</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>廃棄物管理責任者講習会参加人数</td> <td>43人</td> </tr> </table>	対象件数	307件	再利用計画書提出件数	307件	事業用建築物立入検査件数	29件	廃棄物管理責任者講習会参加人数	75人	対象件数	316件	再利用計画書提出件数	290件	事業用建築物立入検査件数	19件	廃棄物管理責任者講習会参加人数	43人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立入検査で先進的な取組をしている事例を紹介したり、講習会の中で啓発用DVDを活用したりすることで、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。</li> </ul>
	対象件数	307件																	
再利用計画書提出件数	307件																		
事業用建築物立入検査件数	29件																		
廃棄物管理責任者講習会参加人数	75人																		
対象件数	316件																		
再利用計画書提出件数	290件																		
事業用建築物立入検査件数	19件																		
廃棄物管理責任者講習会参加人数	43人																		
(2) 事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロス削減に取り組む店舗「ぶんきょう食べきり協力店」を増やすため、食品衛生担当部署と連携して事業者に働きかけた。 登録店舗数 63店舗（令和4年3月末時点）</li> <li>● 区内の41店舗に対し「リサイクル推進協力店」の登録を行った。（令和4年3月末時点）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続き各種団体・会議等を通じて周知に努める。</li> </ul>																	

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(1) リデュース (発生抑制)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フードドライブ（未利用食品の回収）の実施 リサイクル清掃課常設窓口及びイベント時の回収のほか、区内在住で、リサイクル清掃課窓口等へ食品の持参が困難な方向けに「自宅訪問受取サービス」を実施した。 回収した食品は、文京区社会福祉協議会及びNPO法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて、生活困窮者や地域の福祉団体、施設等に提供した。 食品回収量 約2,614kg</li> <li>● レジ袋削減・マイボトル持参の啓発</li> <li>● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&amp;プレゼントキャンペーン 利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で40名にマイバッグを配布 応募総数 208件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロスの削減をテーマとする講演会等の開催やイベント時に実施するフードドライブを通して食品ロス削減の周知・啓発を行い、発生抑制を推進する。</li> </ul>
	(2) 生ごみ減量活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【コンポスト化容器の斡旋】 5基斡旋（地上型2基、ベランダ型3基）</li> <li>● 【生ごみ減量講座】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> <li>● 【エコ・クッキング教室】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業中止</li> <li>● 食品ロス削減レシピの紹介 【Bunkyoごみダイエット通信新聞折込版】 「エコ・クッキング教室」委託事業者（東京ガス（株））協力のもと、食品ロス削減レシピを紹介  【リサイクル清掃課公式LINE】 環境省と料理研究家のコラボ動画をプッシュ通知で紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外出自粛など生活スタイルの変化により、コンポストの需要が増加した。コンポスト化容器の斡旋の見直しを行うとともに、家庭用生ごみ処理機等、他の手段の導入も研究していく。</li> <li>● 生ごみ減量講座の受講者の更なる開拓と、新たな生活様式に対応したオンライン講座もふまえたうえで、状況に応じ対面講座を開催する。</li> <li>● 生ごみ減量講座やエコ・クッキング教室で、食品ロスについて啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。</li> <li>● 料理教室について、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、安全に実施できるか考慮し開催する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(3) モノを長く使うライフスタイルの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ステージ・エコで実施していたフリーマーケット及びおもちゃの病院（故障したおもちゃ類の無料修理）は中止</li> <li>● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&amp;プレゼントキャンペーンにおいて、マイバッグを配布 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フリーマーケットやおもちゃの病院等開催方法を検討する。</li> </ul>
	(4) リユース（再使用）の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【ステージ・エコ】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> <li>● 【フードドライブ】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> <li>● リサイクル推進協力店の各店舗の取組情報やPRポイント等をHPに掲載41店舗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内のフリーマーケット・バザー情報について、HPの掲載を行うとともにステージ・エコ実行委員への情報提供やステージ・エコ会場にて広報誌等の掲示を行う。</li> <li>● 各種広報媒体を活用し、登録店舗の取組内容を区民に紹介する。</li> </ul>
	(5) 集団回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団回収実践団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。 実践団体数 590団体</li> <li>● 集団回収に関する記事を掲載したBunkyoごみダイエット通信（12月）を配布し、多くの区民に周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団回収実践団体に対し、引き続き支援を行う。</li> </ul>
	(6) 資源回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールを実施した。</li> <li>● ステージ・エコイベントで小型家電9品目・小型の金属類・水銀使用計器類の回収を行った。また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を行った。</li> <li>● リサイクル清掃課に回収ボックスを設置し、携帯電話・スマートフォンの回収を行った。</li> <li>● プラスチックの分別回収モデル地区について、町会・自治会向けに募集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持ち去り対策について、効果的な連携のあり方や対策等について、各関係機関とも検討していく。</li> <li>● 小型家電9品目・小型の金属類・水銀使用計器類の回収は、現在の回収方法を継続するとともに周知活動を行っていく。</li> <li>● 携帯電話・スマートフォンに含まれる金属等の貴重な資源を取り出し、有効活用する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性																
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模・中規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業用大規模・中規模建築物を対象に、1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知及び指導を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言期間中は立入検査を行えなかったため、件数は減少した。また、廃棄物管理責任者講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期は中止とし、後期はオンライン実施とした。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> </ul> <p>【事業用大規模建築物（延べ床面積3,000㎡以上）】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>対象件数</td> <td>307件</td> </tr> <tr> <td>再利用計画書提出件数</td> <td>307件</td> </tr> <tr> <td>事業用建築物立入検査件数</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>廃棄物管理責任者講習会参加人数</td> <td>75人</td> </tr> </table> <p>【事業用中規模建築物（延べ床面積1,000㎡～3,000㎡未満）】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>対象件数</td> <td>316件</td> </tr> <tr> <td>再利用計画書提出件数</td> <td>290件</td> </tr> <tr> <td>事業用建築物立入検査件数</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>廃棄物管理責任者講習会参加人数</td> <td>43人</td> </tr> </table>	対象件数	307件	再利用計画書提出件数	307件	事業用建築物立入検査件数	29件	廃棄物管理責任者講習会参加人数	75人	対象件数	316件	再利用計画書提出件数	290件	事業用建築物立入検査件数	19件	廃棄物管理責任者講習会参加人数	43人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても東京二十三区清掃一部事務組合の清掃工場への不適正搬入が頻繁にあるため、排出事業者の責任を認識し、適正分別を徹底するよう引き続き働きかけていく。</li> </ul>
	対象件数	307件																	
	再利用計画書提出件数	307件																	
事業用建築物立入検査件数	29件																		
廃棄物管理責任者講習会参加人数	75人																		
対象件数	316件																		
再利用計画書提出件数	290件																		
事業用建築物立入検査件数	19件																		
廃棄物管理責任者講習会参加人数	43人																		
(2) 小規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Rサークルオフィス文京や印刷製本組合に対して資源の回収袋を支給し、支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後もRサークルオフィス文京や印刷製本組合に対しては、支援事業を継続する。</li> </ul>																	
(3) 区の率先した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文京シビックセンター内の自販機において、プラスチックごみの削減を推進するため、飲料水以外のペットボトル飲料について缶飲料への切り替えを行った。</li> <li>● 庁内各課にBunkyoごみダイエット通信を配付し、職員全体への周知・啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プラスチックごみ削減に向けた発生抑制の啓発を実施する。</li> <li>● 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を実施する。</li> </ul>																	

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業については、全体的に浸透してきており、今後も効率的かつ効果的な運営に努める。</li> </ul>
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについての周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と引き続き連携を図る。</li> </ul>
	(3) 適正排出の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 9,685件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不適正排出者への指導は必要であり、今後もふれあい指導による適切な指導、相談業務を行う。</li> </ul>
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可や更新時の指導などを行った。</li> <li>● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、立ち入り時の冒頭、文京区廃棄物処理及び再利用に関する条例に定められている「排出事業の責務」を必ず説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般廃棄物処理業者の情報提供については、電話で随時対応する。</li> </ul>
	(5) 中間処理・最終処分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める。</li> </ul>



大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(6) 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、6団体と締結している災害時のし尿及び災害廃棄物に関する収集・運搬、処理・処分の協力協定、23区及び清掃一組間で締結している災害廃棄物の共同処理等に関する協定について、細目等の検討を行った。</li> <li>● 首都直下地震などの大規模災害に伴い発生した災害廃棄物に関する基本的な考え方、処理体制、処理方法などの基本的事項を定めた「文京区災害廃棄物処理計画」を令和4年3月に策定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、引き続き、各協定の細目等について検討する。</li> <li>● 「文京区災害廃棄物処理計画」に基づいて、処理体制、処理方法などの具体的事項について検討する。</li> </ul>
	(7) 感染症発生時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年5月に策定した「新型インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症の発生時における文京区廃棄物処理事業継続計画」に基づいた対応を実施した。</li> <li>● 新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのごみの捨て方及びごみの収集作業等における安全確保について、周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の感染予防を講じるとともに、感染状況に応じて事業継続計画に基づいた対応を行う。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【リサイクル清掃審議会 第8期】 2回開催 文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況やごみ量等を報告・審議した。</li> <li>● 【リサイクル推進サポーター連絡会】 1回開催（11月29日(月)） サポーター活動に関する情報提供や意見交換、サポーター相互の交流を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流の機会が減少している現状においても、3R普及・啓発について考える機会を継続的に設けていく。</li> </ul>
	(2) 国等への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 循環型社会形成を図るため、廃棄物処理施設整備計画に掲げられた目標達成に向け、所要の財政的措置を講ずることなどを、大都市清掃事業協議会を通じて国へ要望を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業系ごみの占める割合が高い、廃棄物処理施設の用地確保が難しいなど、特別区として大都市特有の問題も数多く抱えており、適切な役割分担と負担を引き続き国へ要望していく。</li> </ul>
	(3) 行政内部での連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取組を掲載し啓発を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在の連携部署に加え、各事業で関連部署との連携・協力を図る。</li> </ul>
	(4) 処理費用負担の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「廃棄物処理手数料改定検討会」において、廃棄物処理手数料原価の確認・検証を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原則4年ごとの手数料見直しに向けて、「廃棄物処理手数料改定検討会」において、引き続き検討を進める。</li> </ul>
	(5) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、文京区一般廃棄物処理基本計画や文京区災害廃棄物処理計画、文京区リサイクル清掃審議会の開催についてもホームページ等にて公開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業概要やホームページ、Bunkyoごみダイエット通信等で、引き続き情報公開を行う。</li> </ul>